

# 都市再生整備計画(第2回変更)

む ろ さ か つ  
牟呂坂津地区

愛知県 とよはし  
豊橋市

平成26年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	豊橋市	地区名	牟呂坂津地区	面積	27 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

**目標**  
 良好な住環境を確保し、歴史を感じながら安心して住み続けられる魅力あるまちづくり  
 ①良好な住環境を有する、安心・快適なまちづくり  
 ②地域交流の場の創出による、活力あるまちづくり  
 ③交通災害に強い、安全安心なまちづくり

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況

- ・当地区は、JR豊橋駅から西へ約2kmにあり、都心部と臨海部とを結ぶ軸線上に位置し、今後の都市発展の方向性を定める上で重要な地区である。近隣にある市民病院により地区内の通過交通量が増加しており、地域性を考慮した隣接市街地との一体的な整備を図ることにより、都市基盤需要にも応え、適正な都市発展が見込まれるものである。
- ・当地区は縄文時代から人が住み着いており、街路ばかりでなく地区中央を縦断する県道も狭小であるにもかかわらず、通過交通量が増加し、交通安全上や防災上の観点から問題があり、平成8年に土地区画整理事業の話が持ち上がり、坂津のまちを考える会から土地区画整理事業実施の要望書が提出され、土地区画整理準備会が発足し、平成13年度から土地区画整理事業を実施している。
- ・平成18年度から平成22年度までの都市再生整備計画事業(第1期)において、地域福祉センターの建設など一体的な整備を進め、まちづくりにおいて一定の事業効果を得た。
- ・地区内には未だ消防活動困難区域が有り、良好な住環境の確保と防災性の向上をする必要があるため、公共施設の整備改善など基盤整備の継続が求められている。
- ・事業進捗に伴い地区内交通量が増加しており、地域住民が安全・安心して生活できるように、交通安全対策が求められている。
- ・児童が安全で安心して学校に登校するため、歩行者空間の確保と整備の継続が求められている。
- ・新たに転入した住民が増えていることから、地域交流の推進によるまちづくりが求められている。
- ・古墳や貝塚などの歴史的財産があり、歴史を活かしたまちづくりも求められている。

**課題**  
 平成22年度までの都市再生整備計画事業において基盤整備により一定の効果を得たが、住み続けたいと感じられる魅力あるまちづくりを図るためにも、残された未整備箇所の早期完了が求められており、今後も引き続き当地区のまちづくりを進めていく必要がある。  
 ○狭隘道路が未だ残されており交通安全上や防災上の問題があるため、住環境の整備・改善が必要である。  
 ○地域交流の推進による、地域コミュニティ形成の必要がある。  
 ○児童や高齢者の安全確保のため、交通環境整備を推進する必要がある。

**将来ビジョン(中長期)**  
 第5次豊橋市総合計画  
 ○市街地の整備と景観の形成 — 安全で快適な市街地を形成するため、土地区画整理事業による住環境の向上を図る。  
 豊橋らしい美しいまちをつくるため、地域ごとの自然や歴史、文化などの特性を活かし、市民とともに良好な景観の保全、創出に努める。  
 ○生活道路の整備 — 安全な交通環境を確保するため、自転車歩行者道や交通安全施設などの整備に努める。  
 ○地域福祉の充実 — 子ども・高齢者などすべての市民が安心して暮らせるよう、地域における相互扶助の促進を図り、支えあいの地域づくりを進める。  
 ○文化財の保護と歴史の継承 — 郷土の歴史、文化、自然を次世代に継承するため、価値ある文化財の保存や活用を進める。  
 豊橋市都市計画マスタープラン  
 ○都市施設整備の方針 — 歩行者、自転車のための安全で快適な移動空間の確保を図る。  
 ○市街地整備の方針 — 安全で快適な都市空間を形成するため、土地区画整理事業を計画的に推進する。  
 ○防災都市づくりの方針 — 無計画な市街地形成や土地利用の混乱を防ぎ、地震、火災などに対する都市防災を進める。

**目標を定量化する指標**

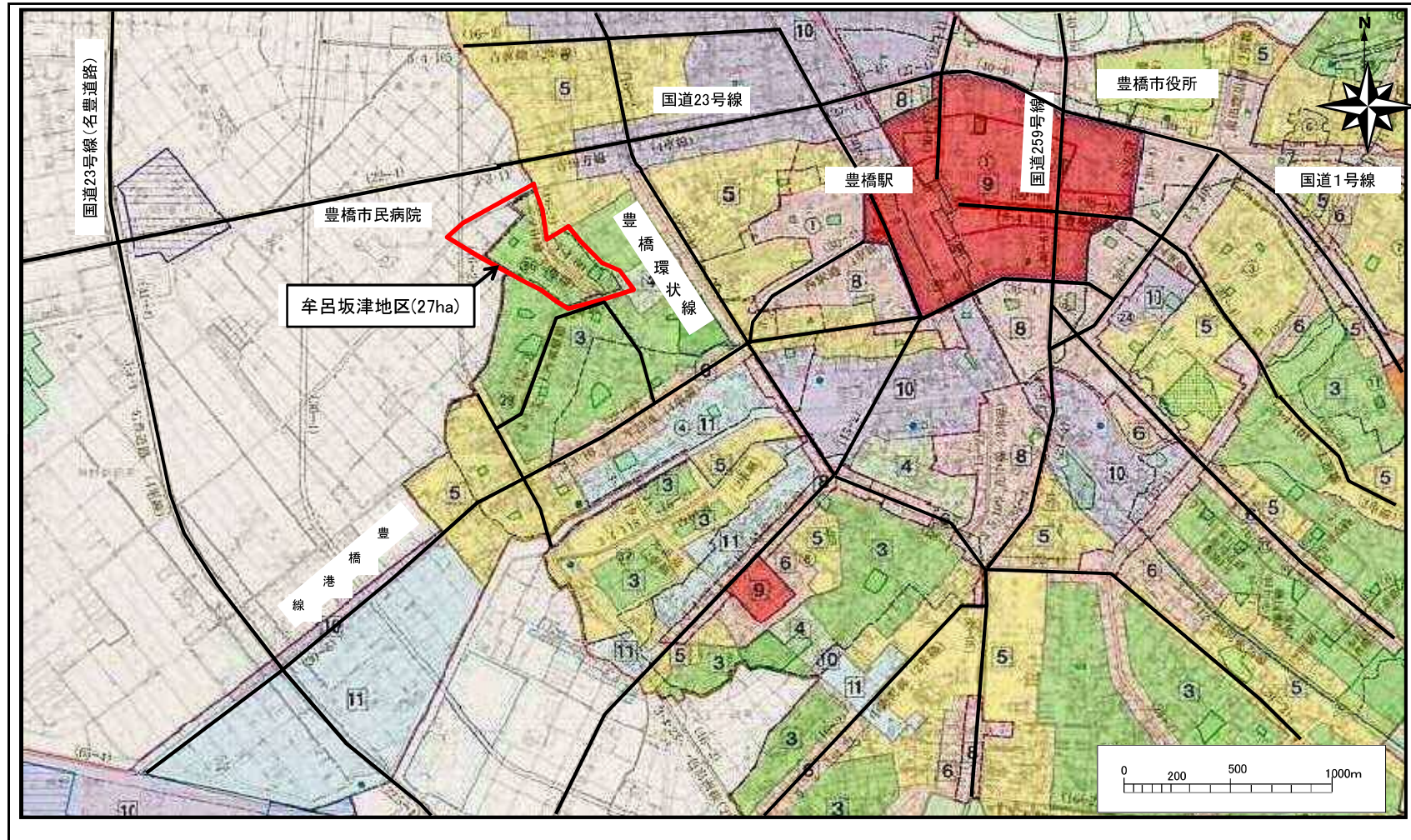
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
宅地利利用率	%	地区内において宅地造成をした面積に対する、宅地利用面積の割合	良好な住環境を整えることなどにより魅力あるまちづくりを進め、宅地利用の促進と人口定着を図る。	54	H22	60	H27
地域福祉センター利用者数	人/日	牟呂地域福祉センターの1日当り利用者数	地域交流を推進し、地域住民のコミュニティーの形成・活性化を図る。	198	H21	217	H27
歩道整備率	%	地区内の歩道付き道路の整備率	車道と歩道を分離し、バリアフリー化した歩道を整備することで、誰もが安心して歩ける歩行者空間を確保する。	45	H22	82	H27

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・方針1 良好な住環境を有する、安心・快適なまちづくり 土地区画整理事業の推進による良好な住環境を有する快適な住宅地の創出や、地域の歴史的特性を活かし、まちの魅力の向上を図る。 狭隘道路を解消するとともに、避難路と避難地を結ぶ道路網の整備を推進し、良好な住環境を支える防災性の向上を図る。</p>	<p>■牟呂坂津土地区画整理事業(基幹事業:都市再生) ○牟呂坂津土地区画整理事業(関連事業:特会) □生活環境改善事業(提案事業) ○歴史サイン設置事業(関連事業)</p>
<p>・方針2 地域交流の場の創出による、活力あるまちづくり 地域住民の交流・文化活動を推進し、地域コミュニティの形成を図り、活力あるまちづくりを促進する。</p>	<p>□つどいの広場事業(提案事業)</p>
<p>・方針3 交通災害に強い、安全安心なまちづくり 歩道整備を推進し、児童や高齢者にとって安全かつ快適な歩行空間の確保を図る。 交通環境施設の整備により交通安全対策を図り、安全安心な生活環境を確保する。</p>	<p>■牟呂坂津土地区画整理事業(基幹事業:都市再生) □生活環境改善事業(提案事業) ○水路整備事業(関連事業) ○自転車道等設置事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良好な住環境の創造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱を民地に入れることにより、公共空間を広くとる。</li> </ul> </li> <li>○ 歴史的財産の継承 <ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文時代から人が住み着いた当地区には、埴輪が出土した三ツ山古墳など貴重な歴史的財産がある。</li> </ul> </li> <li>○ 都市再生整備計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度から平成22年度の期間で都市再生整備計画を策定し、一定の事業効果を得ている。</li> </ul> </li> </ul>	

都市再生整備計画の区域

<p>牟呂坂津地区(愛知県豊橋市)</p>	<p>面積 27 ha</p>	<p>区域 牟呂町字境松、字三ツ山、字外神、字坂津及び字若宮の全部 牟呂町字一本木、字八王子、字内田 新栄町字牟呂下、字一本木、小向町字内田及び牟呂水神町の一部</p>
-----------------------	-----------------	--





## 牟呂坂津地区(愛知県豊橋市) 整備方針概要図

目標	良好な住環境を確保し、歴史を感じながら安心して住み続けられる魅力あるまちづくり	代表的な指標	宅地利用率 ( % )	54	(H22年度)	→	60	(H27年度)
	①良好な住環境を有する、安心・快適なまちづくり		地域福祉センター利用者数 (人/日)	198	(H21年度)	→	217	(H27年度)
	②地域交流の場の創出による、活力あるまちづくり		歩道整備率 ( % )	45	(H22年度)	→	82	(H27年度)
	③交通災害に強い、安全安心なまちづくり							

